

SuperSports XEBIO 岡山県フットサルリーグ 2016 大会要項

- 1、大会名称 SuperSports XEBIO 岡山県フットサルリーグ 2016
- 2、主催 一般財団法人 岡山県サッカー協会
- 3、主管 岡山県フットサル連盟
- 4、協賛 SuperSports XEBIO
- 5、大会期間 2016年5月～2017年3月
- 6、会場 岡山県内
- 7、日程 土・日曜日、祝日
- 8、参加資格
 - (1) 2016年度公益財団法人日本サッカー協会日本フットサル連盟にチーム加盟登録を行ったチームであること。
 - (2) 2016年度公益財団法人日本サッカー協会日本フットサル連盟に加盟登録を行ったチームの選手および役員であること。
また、公益財団法人日本サッカー協会のフットサル選手登録を行った選手および役員であること（24名までの選手登録と10名の役員登録とする）
 - (3) 中国フットサル連盟および岡山県フットサル連盟に加盟登録を行ったチームであること。
 - (4) 岡山県フットサルリーグ加盟登録を行ったチーム及び16歳以上（当該年度の4月1日において15歳以上）の選手登録を行った選手であること。
 - (5) 1項に定めるチームには、1チームあたり4名までの外国籍選手の登録を認める。ただし、当該外国籍選手は、IFTC（国際フットサル移籍証明書）により移籍が完了し、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。なお、外国籍選手はピッチ上に2名を超えて同時にプレーをすることはできない。
 - (6) 選手の追加登録については、岡山県フットサルリーグ選手登録規定に定める。
 - (7) 代表者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。
また、代表者が岡山県フットサルリーグ運営委員となること。
 - (8) チームに帯同審判員としてフットサル4級以上を3名以上確保すること。
 - ① 1部に所属するチームは、帯同審判員のうち原則としてフットサル3級以上を1名以上確保すること。
また、レギュラーシーズンにおいて、試合数の3分の2以上を3級以上の審判員がおこなうこと。
 - ② 本年度1部に所属するチームは、リーグ戦全日程終了時に次年度に活動できるフットサル3級審判員の確保を確約することにより、残留あるいは入替戦に参加できるものとする。
また、フットサル3級審判員を確保できないチームは2部へ降格とする。
本年度2部に所属するチームは、フットサル3級審判員の確保をもって、昇格または入替戦へ参加する資格を有するものとする。
ただし、確保できていない場合でも、選手役員が3級審判員取得へ努力

することを条件とする。

- (9) 既存チームが前年度から継続参加する場合は、前年度に登録された選手が 5 名以上引き続き選手登録することを条件とする。

9、競技規約

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会制定の「2016フットサル競技規則」による。
- (2) 試合前に選手証の確認を行う。
- (3) ベンチ入りの人数は、選手 14 名・役員 4 名までとする。
- (4) 不戦勝の場合は 5-0 で勝ちとする。
不戦敗の場合は 0-5 で負けとし、処分については常任委員会にて決定する。
- (5) 累積警告 2 回で次節の 1 試合を出場停止とし、1 試合中警告 2 回（退場）または一発退場については次節の 1 試合の出場停止を基本とするが、それ以降の処分は規律委員会にて決定する。
- (6) 競技時間 1 部リーグ 前後半各 20 分 インターバル 5 分
2・3 部リーグ 前後半各 15 分 インターバル 5 分
プレイングタイムで競技する。
- (7) 原則として競技場は板貼りでサイズは 40×20m とする。
- (8) 2016 年使用球はモルテン社製フットサルボールとする。
- (9) 使用できるシューズは室内用フットサルシューズまたは体育館シューズで、接地面が鉛色、白色もしくは透明のものとする。（着色ノンマーキングは不可）
- (10) すね当ては必ず着用すること。
- (11) 試合開始予定の 30 分前に運営本部前にて対戦チーム代表者と担当審判員でマネージャーズミーティングを行う。
その際、主審が主導で選手証、メンバー表及びユニフォーム等の確認を対戦チーム同士で行う。

10、競技方法

- (1) リーグ構成について
原則として
- | | | |
|-----|--------|-----------------------------------|
| 1 部 | 8 チーム | 1 リーグ制（総当り 1 回戦） |
| 2 部 | 15 チーム | 8 および 7 チームの A・B 2 リーグ制（総当り 1 回戦） |
| 3 部 | 7 チーム | 1 リーグ制（総当り 1 回戦） |
- (2) 順位決定方法について
勝点は、勝ち 3 点、引き分け 1 点、負け 0 点とする。
勝ち点と同じ場合は、当該チームの対戦勝ちの順とし、さらに決しない場合は得失点差による順位決定とし、さらに決定しない場合は総得点、さらに決定しない場合は再試合により決定する。

2 部については A・B 各リーグの同順位にて順位決定戦をおこなう。

その際、後半を同点で終了した場合は、PK 戦（3 人制）により勝者を決定

するが、昇格または降格に関わる試合についてのみ延長戦（前後半各3分）をおこない、それでも同点の場合はPK戦（3人制）により勝者を決定する。

(3) 1部2部リーグ入替について

原則として2部1位および2位のチームは1部へ自動昇格とする。
1部8位と2部3位が入替戦をおこなう。

試合方式は前後半各20分インターバル5分、延長戦（前後半各3分）により勝者を決める。

入替戦の結果引き分けの場合は、それぞれ残留とする。

(4) 2部3部リーグ入替について

原則として2部1・2位から1・5位は3部へ自動降格とする。
また、3部1位は2部に自動昇格する。
2部1・1位と3部2位が入替戦をおこなう。

試合方式は前後半各15分インターバル5分、延長戦（前後半各3分）により勝者を決める。

入替戦の結果引き分けの場合は、それぞれ残留とする。

11、ユニフォーム (1) ユニフォームの登録について

- ユニフォームはリーグ登録票に記載したもののみ使用できる。
FP（フィールドプレイヤー）正副2着
GK（ゴールキーパー）正副2着
FP、GKの計4着がすべて異色で登録すること。
- ストライプの場合はメインカラーを前に書くこと。
また、ストライプのユニフォーム登録は1着のみとする。
- 背番号はシーズンを通して選手固有のものとする。
- シーズン中のユニフォーム変更を認めるが、事務局に申し出て認可された後でなければ使用できない。
- 原則として日本サッカー協会で定められたユニフォーム規定に順ずる。

(2) パワープレイ時のユニフォームについて

- 試合中FPがGKとして、またその反対として出場する場合は、同じ背番号のシャツのみ着替えれば出場できる。
- 原則としてパワープレイを行っている間は、その試合でGK登録している全ての選手が退場処分および負傷等でベンチにいない場合を除き、GKの正規のユニフォームを着用した選手がベンチにいること。

12、その他

- (1) 社会人のみチーム構成の 1/2 が同じ会社である場合のみ、社内行事による日程調整を行えるものとする。

なお 5～8 月までは 5 月 19 日

9～2 月までは 7 月 20 日

- (2) 競技中の飲水はベンチのみ可能

ただし、必ずスクイズボトルを使用することし、中身は水のみとする。

タイムアウト時はベンチ付近のシート上で飲水すること。

- (3) 審判、記録、タイムキーパー、ボールパーソンを各チームに割り当てるので、支障の無いよう運営にあたること。

※各チーム 審判、記録、タイムキーパーに 1 名ずつ

ボールパーソン 2～4 名（会場による）

また、審判およびタイムキーパーは必ずフットサル審判資格取得者が行い、審判服・ホイッスル・カードは各チームで用意すること。

- (4) 審判は、厳重に記録用紙の記載内容を確認した後にサインするとともに、各対戦チームの責任者にも同じく確認のサイン記載したものを、会場運営に渡すこと。

- (5) 会場運営は、その日の開催状況を報告シートにより、記録用紙とあわせて事務局へ報告すること

- (6) 会場準備及び片付けを各コートに 2 チーム割り当てるので、責任を持ってあたること。また、会場運営も積極的に協力すること。

準備……第一試合の 2 チーム

片付け…最終試合の 2 チーム

- (7) 会場内外での器物の破損は、当該チームで弁償すること。

また、場内外での負傷等の処理はチームで対応することとし、主催者は一切の責任を負わないものとする。

- (8) 貴重品は必ず各チーム個人で管理すること。

盗難汚損等があっても主催者は一切の責任を負わないものとする。

- (9) 各会場の使用上の遵守義務を必ず守ること。

※ たばこ及び飲食は所定の場所で行う。

※ 車での来場の際、駐車規制を守る。

※ ゴミは必ず各自持って帰る。

- (10) このほかりーグ運営について障害が発生した場合は、その都度常任委員会を開催し決定する。